FOMA® P705i

ISSUE DATE: '08.4

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書

NTT DoCoMo

かんたん検索／目次／注意事項
ご使用前の確認
電話／テレビ電話
電話帳
音／画面／照明設定
あんしん設定
カメラ
i モード／ i モーション／ i チャネル
メール
i アプリ
おサイフケータイ／トルカ
ワンセグ
フルブラウザ／PC動画
データ表示／編集／管理
Music&Videoチャネル／音楽再生
その他の便利な機能
文字入力
ネットワークサービス
パソコン接続
海外利用
付録／外部機器連携／困ったときには
索引／クイックマニュアル

ドコモ W-CDMA方式

このたびは、「FOMA P705i」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書およびその他のオプション機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

FOMA P705iは、お客様の有能なパートナーです。大切にお取扱いのうえ、末永くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本たっている場合で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。
  しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、グローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo and DoCoMo's roaming area.
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、メモ帳、伝言メモ、音声メモ、動画メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDメモリーカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送・保管できます。

本書のご使用にあたって

本FOMA端末は、きせかえツール（P.106）に対応しております。きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また、メニュー項目に割り当てられている番号（メニュー番号）が適用されないものがあります。この場合、本書での説明どおりに操作できないため、基本構造メニューに切り替えるか（P.107）、メニュー設定をリセット（P.107）してください。

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

・「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
(http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html)

※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかたについて

本書ではFOMA端末を正しく簡単にお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを交えて説明しています。

- 本書の手順や画面は、本体色「Morning White」のお買い上げ時の設定で記載しています。ただし、下記の設定を変更しています。
  - ・「メニューアイコン設定」：モザイク
  - ・「画面表示設定」→「待受画面」：OFF
  - ・「画面表示設定」→「時計」→「時計表示」：大きく表示
  - ・「画面表示設定」→「時計」→「表示位置」：パターン2
  - ・「画面表示設定」→「時計」→「表示色」：黒
- 特に記載のない場合、本書では待受画面からの操作手順を記載しています。
- 操作の方法は、スクロール選択(P.32参照)で説明しています。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、「ICカード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリ」を「おサイフケータイ対応ｉアプリ」と記載しております。
- 本書では、「FOMA P705i」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の操作説明では、ボタンを押す操作を簡略なボタンイラストで表現しています。
- 本書の中ではmicroSDメモリーカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDメモリーカードが必要となります。microSDメモリーカードについてはP.313参照。

知りたい機能の探しかた

次のような検索方法で、機能やサービスの説明ページを探せます。

索引から

機能名・サービスがわかっている場合はここから探します。

かんたん検索から

よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

表紙インデックスから

表紙のインデックスを利用して探します。

詳しくは次ページで説明しています。

目次から ▶▶P.6

機能ごとに分類された目次から探します。

主な機能から ▶▶P.8

主な機能をご利用になりたい場合はここから探します。

機能一覧から ▶▶P.430

機能一覧表を利用して探します。

クイックマニュアルから ▶▶P.502

基本的な機能について簡潔に説明しています。外出の際に切り離してお持ちいただけます。また、クイックマニュアル「海外利用編」も記載しておりますので、海外でFOMA端末をご利用いただく際にご活用ください。

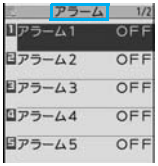
本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

「アラーム」を検索する方法を例にして説明します。

索引から

▶▶P.494

機能名称やサービス名などを右記の例のように探します。



アイコン表示 140, 142, 145
明るさ 295
明るさ設定 259
明るさ調節 75, 143
アクション一覧 73, 307
アクション切替 73, 308
アクセス設定 276
アクセス認証 415
アップロード 274
アフターサービス 471
アラーム 364

かんたん検索から

▶▶P.4

よく使う機能や知っていると便利な機能を右記の例のように探します。

こんなこともできます

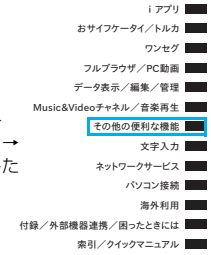
電池の消費を抑えたい.....＜省電力モード＞ 104
QRコードやバーコードを取り込みたい.....＜バーコードリーダー＞ 147
microSDメモリーカードを使いたい.....＜microSDメモリーカード＞ 313
赤外線で情報をやり取りしたい.....＜赤外線通信＞ 326
音楽を聴きたい.....＜ミュージックプレーヤー＞ 347
目覚ましとして使いたい.....＜アラーム＞ 364
電卓として使いたい.....＜電卓＞ 378
海外で携帯電話を使いたい.....＜国際ローミング＞ 420
最新のソフトウェアにしたい.....＜ソフトウェア更新＞ 473
セキュリティを最新の状態にしたい.....＜スキャン機能＞ 479

P.364「アラームを利用する」の説明ページへ

表紙インデックスから

▶▶表紙

右記の例のように「表紙」→「章扉（章の最初のページ）」→「説明ページ」の順に設定したい機能を探します。



マルチタスクについて .....＜マルチタスク＞ 361
着信やメールの内容を音声で知らせる .....＜音声読み上げ＞ 362
指定した時刻に自動的に電源を入れる／切る
.....＜自動電源ON／OFF設定＞ 364
アラームを利用する .....＜アラーム＞ 364
カレンダーでスケジュールを管理する .....＜スケジュール＞ 367
ToDoでスケジュールを管理する .....＜ToDo＞ 371

機能名称
索引から引くことのできる名称です。

メニュー番号
(P.34参照)

画面に表示される項目名
(実行できない項目もあります)

操作手順
(P.32参照)

各項目の操作や補足説明

ポイントとなる画面
(文字や設定は一例です)

各機能を利用する際の注意事項、参考事項

章タイトル

章ごとに検索できます。

機能に関連した動作や補足的な操作などの説明

選択肢とその説明

その他の便利な機能

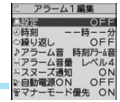
<アラーム>

MENU 4 4

アラームを利用する

設定した時刻になるとアラーム音とアニメーション、イルミネーションでお知らせします。12件まで登録できます。

1 MENU▶ステーションナリー▶アラーム▶アラームを選んで✉(編集)▶以下の操作を行う



項目	操作・補足
(設定)	アラームの有効／無効を設定します。 ▶ON・OFF
(時刻)	▶アラームを鳴らす時刻を入力 ●すでに設定されているアラームと同じ時刻は設定できません。
♪(アラーム音)	▶アラーム音の種類を選択▶フォルダを選択 ▶アラーム音を選択
(アラーム音量)	▶●で音量を調節 ●「ステップ」に設定すると、約3秒間の無音のあとにレベル1～6の順で約3秒ごとに音量が上がります。
(マナーモード優先)	マナーモード中のアラーム音量について設定します。 ▶ON・OFF ON . . . P.99「アラーム音量」に従って音が鳴ります。 OFF. . . 本機能で設定した音量で音が鳴ります。

2 ✉(完了)を押す

アラーム表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
編集	P.364「アラームを利用する」手順1へ進みます。
詳細表示	アラームの登録内容を表示します。
1件ON	登録済みのアラームを有効にします。 ▶YES ●●(ON)を押しても有効にできます。
全件ON	登録済みのアラームをすべて有効にします。 ▶YES
1件OFF	登録済みのアラームを無効にします。 ▶YES ●●(OFF)を押しても無効にできます。
全件OFF	登録済みのアラームをすべて無効にします。 ▶YES

お知らせ

- 通話中のアラーム音の音量は、「受話音量」で設定した音量になります。
- 自動的に電源をONにしてアラームを通知する場合、FOMAカード動作制限機能が設定されたアラーム音が選択されていると、お買い上げ時のアラーム音が鳴ります。
- 高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ自動電源の設定を「電源ONしない」に設定し、FOMA端末の電源をOFFにしてください。

「アラーム」、「スケジュール」、「ToDo」のアラームを設定したときは

デスクトップにアイコンが表示されます。

「🔔」. . . . 当日の設定(過ぎた時刻の設定は除く)がある場合に表示されます。

「🔔」. . . . 明日以降の設定のみの場合に表示されます。

- スケジュール・ToDoの「アラーム通知」を「通知しない」に設定して登録した場合は、アイコンは表示されません。

364

注:上記ページはサンプルです。

かんたん検索

知りたい機能をわかりやすい言葉から調べたいときにご活用ください。

通話に便利な機能を知りたい

電話番号を知らせたい／知られたくない ..... ＜発信者番号通知＞ 46
音声電話通話中にテレビ電話に切り替えたい..... ＜テレビ電話切替＞ 53
相手の声の音量を変えたい..... ＜受話音量＞ 66
通話を保留したい ..... ＜通話中保留＞ 67

出られない電話にこうしたい

電話に出ないで保留したい..... ＜応答保留＞ 67
通話を控える必要があることを伝えたい
..... ＜公共モード(ドライブモード)＞ 68
..... ＜公共モード(電源OFF)＞ 69
用件を録音／録画したい..... ＜伝言メモ設定＞ 70

メロディやイルミネーションを変えたい

着信音の音量を変えたい..... ＜着信音量＞ 67
着信相手ごとに着信音などを変えたい ..... ＜電話帳登録＞ 80
着信音を変えたい ..... ＜着信音選択＞ 94
着信を振動でも知りたい..... ＜バイブレータ＞ 95
ボタンを押したときの音を消したい ..... ＜ボタン確認音＞ 96
マナーモードにしたい ..... ＜マナーモード＞ 98
着信時の着信ランプの色や点灯パターンを変えたい
..... ＜イルミネーション＞ 108

画面表示を変えたい／知りたい

画面のマーク(アイコン)の意味を知りたい
..... ＜ディスプレイの見かた＞ 29
メニューの表示を切り替えたい ..... ＜シンプルメニュー＞ 36
待受画面(壁紙)を変えたい..... ＜画面表示設定＞ 100
待受画面にカレンダーを表示させたい..... ＜カレンダー＞ 100
文字の大きさを変えたい..... ＜文字サイズ設定＞ 114

メールを使いこなしたい

デコメールを送りたい..... ＜デコメール＞ 184
画像を送りたい ..... ＜添付ファイル＞ 189
メールを自動で振り分けて保存したい..... ＜自動振分け設定＞ 208

カメラを使いこなしたい

撮影するサイズを変えたい..... ＜画像サイズ設定＞ 143
microSDメモリーカードに保存したい
..... ＜保存設定（保存先設定)＞ 144
撮影した画像を表示したい..... ＜ピクチャビューア＞ 289

安心して電話を使いたい

紛失したときなど、離れたところからFOMA端末をロックしたい
……＜おまかせロック＞※1 121
電話帳の内容を知られたくない……＜シークレットモード＞ 125
番号非通知の電話を受けたくない……＜非通知着信設定＞ 127
電話帳にない人からの電話を受けたくない……＜登録外着信拒否＞ 128
万一のデータ消失に備え電話帳などを保存しておきたい
……＜電話帳お預かりサービス＞※2 129

※1 有料サービスです。
※2 お申し込みが必要な有料サービスです。

ワンセグを使いこなしたい

ワンセグを見たい……＜ワンセグ視聴＞ 257
ワンセグを録画したい……＜ビデオ録画＞＜静止画録画＞ 264
ワンセグの視聴や録画を予約したい……＜視聴予約＞＜録画予約＞ 265
映像や音声の設定を変えたい……＜ユーザ設定＞ 269

こんなこともできます

電池の消費を抑えたい……＜省電力モード＞ 104
QRコードやバーコードを取り込みたい……＜バーコードリーダー＞ 147
microSDメモリーカードを使いたい……＜microSDメモリーカード＞ 313
赤外線で情報をやり取りしたい……＜赤外線通信＞ 326
音楽を聴きたい……＜ミュージックプレーヤー＞ 347
目覚ましとして使いたい……＜アラーム＞ 364
電卓として使いたい……＜電卓＞ 378
海外で携帯電話を使いたい……＜国際ローミング＞ 420
最新のソフトウェアにしたい……＜ソフトウェア更新＞ 473
セキュリティを最新の状態にしたい……＜スキャン機能＞ 479

●よく使う機能などの操作手順をクイックマニュアルとして案内しております。（P.502参照）

目次

本書の見かた／引きかたについて . . 1
かんたん検索 4
目次 6
FOMA P705iの主な機能 8
FOMA P705iを使いこなす！ . . . 10
安全上のご注意 12
取扱上のお願い 18
知的財産権について 21
本体付属品および主なオプション品について 23

ご使用前の確認 25	各部の名称と機能、シンプルメニュー、使いかたナビ、FOMAカード、電池パック、充電、電源ON／OFF、初期値設定、発信者番号通知　など
電話／テレビ電話 49	電話／テレビ電話をかける、着もじ、WORLD CALL、ハンズフリー、電話／テレビ電話を受ける、受話音量、着信音量、公共モード（ドライブモード）、公共モード（電源OFF）、伝言メモ設定、キャラ電　など
電話帳 79	使用できる電話帳、電話帳登録（本体・FOMAカード）、グループ設定、電話帳検索、電話帳登録件数、ツータッチダイヤル、ボイスダイヤル、電話帳お預かりサービス　など
音／画面／照明設定 93	着信音選択、バイブレータ、マナーモード、画面表示設定、照明設定、カラーテーマ設定、メニューアイコン設定、きせかえツール、Feel機能設定、イルミネーション、デスクトップ、フォント設定、文字サイズ設定、バイリンガル　など
あんしん設定 117	暗証番号、PINロック解除、オールロック、おまかせロック、セルフモード、パーソナルデータロック、ダイヤル発信制限、シークレットモード、メールセキュリティ設定、非通知着信設定、登録外着信拒否　など
カメラ 131	ご利用になる前に、静止画撮影、動画撮影、撮影時の設定、画像サイズ／画質設定、バーコードリーダー、テキストリーダー
i モード／i モーション／i チャネル 153	i モードとは、i Menu、マイメニュー、i モードパスワード変更、URL入力、ブックマーク、画面メモ、ダウンロード、i モード設定、SSL証明書操作、ユーザ証明書操作、i モーションとは、i チャネルとは　など
メール 179	i モードメール、デコメール、添付ファイル、メール自動受信、メール選択受信、i モード問い合わせ、受信BOX、送信BOX、保存BOX、メッセージR/F、緊急速報「エリアメール」とは、チャットメール、SMS、WEBメール　など
i アプリ 227	i アプリとは、i アプリダウンロード、i アプリ実行、i アプリ設定、i アプリ自動起動、i アプリ待受画面、i アプリデータ（microSD）
おサイフケータイ／トルカ 243	おサイフケータイとは、iCお引っこしサービスとは、おサイフケータイ対応 i アプリ、トルカとは、トルカ取得、トルカ一覧画面・詳細画面、トルカ設定、ICカードロック
ワンセグ 253	ワンセグとは、ご利用になる前に、チャンネル設定、ワンセグ視聴、番組表 i アプリ、データ放送、テレビリンク、ワンセグ録画、視聴予約・録画予約、ユーザ設定

フルブラウザ／PC動画 271	フルブラウザ、フルブラウザ設定、PC動画とは、PC動画ダウンロード、PC動画プレーヤー
データ表示／編集／管理 285	データBOX、ピクチャビューア、iモーションプレーヤー、ビデオプレーヤー、キャラ電、メロディプレーヤー、きせかえツール、microSDメモリーカード、赤外線通信、iC通信、PDF対応ビューア、ドキュメントビューア　など
Music&Videoチャネル／音楽再生 337	Music&Videoチャネルとは、番組設定、番組の再生／操作、音楽の再生方法、音楽データの保存、ミュージックプレーヤー、プレイリスト
その他の便利な機能 359	マルチアクセス、マルチタスク、音声読み上げ、アラーム、スケジュール、ToDo、自局番号表示、音声メモ、動画メモ、ボイスレコーダー、通話時間／料金、電卓、テキストメモ、FOMAカード(UIM)操作、設定リセット、端末初期化　など
文字入力 383	文字入力、モード1(かな方式)、定型文、切り取り／コピー／貼り付け、ユーザ辞書、ダウンロード辞書、モード2(2タッチ方式)、モード3(ニコタッチ方式)　など
ネットワークサービス 393	メッセージ問い合わせ、留守番電話、キャッチホン、転送でんわ、迷惑電話ストップ、番号通知お願いサービス、デュアルネットワーク、サービスダイヤル、遠隔操作設定、マルチナンバー、2in1、OFFICEED　など
パソコン接続 413	利用できるデータ通信、ご使用になる前に、データ通信の準備の流れ、ATコマンド、CD-ROM、ドコモケータイdatalink
海外利用 419	国際ローミング(WORLD WING)概要、利用できるサービス、利用時の確認、滞在先で電話をかける、電話を受ける、ローミングガイダンス設定、ネットワークサービス　など
付録／外部機器連携／困ったときには 429	機能一覧表、オプション・関連機器、故障かな？と思ったら、こんな表示が出たときは、保証とアフターサービス、ソフトウェア更新、スキャン機能、主な仕様、保存・登録・保護件数、比吸収率、輸出管理規制　など
索引／クイックマニュアル 493	索引、クイックマニュアル、クイックマニュアル「海外利用編」

FOMA P705iの主な機能

FOMA（Freedom Of Mobile multimedia Access）とは、第3世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格の1つと認定された「W-CDMA方式」をベースとしたドコモのサービス名称です。

iモードだからスゴイ！

iモードは、iモードメニューサイト（番組）やiモード対応ホームページから便利な情報をご利用いただけるほか、手軽にメールのやりとりができるオンラインサービスです。

◆iモードメール／デコメール／デコメ絵文字

▶▶P.180、P.184、P.286

テキスト本文に加えて、合計2Mバイトもしくは10個までファイル（JPEG、トルカ、PDFなど）を添付できます。また、デコメール／デコメ絵文字にも対応しており、メール本文の文字の色・大きさや背景色を変えたり、画像や動く絵文字を挿入できます。

◆メガiアプリ

▶▶P.228

iアプリをサイトからダウンロードすることにより、ゲームを楽しんだり自動的に株価や天気情報などを更新させたりできます。大容量のメガiアプリ対応のため、高精細3Dゲームや長編ロールプレイングゲームなども楽しむことができます。

◆高速通信対応

▶▶P.414

FOMAハイスピードエリア対応で、受信最大3.6Mbps、送信最大384kbpsの高速通信を行うことができます。

◆国際ローミング

▶▶P.420

日本国内でお使いのFOMA端末・電話番号・メールアドレスが海外でもそのまま使えます。（3Gエリアに対応）
音声電話、テレビ電話、iモード、iモードメール、SMS、ネットワークサービスを利用できます。

◆着うたフル®／うた・ホーダイ／Music&Videoチャネル※／ビデオクリップ

▶▶P.174、P.338、P.345、P.347

1曲まるごと楽曲をダウンロードできる着うたフル®や、ケータイ1つで定額で好きな曲を好きなだけ楽しめるうた・ホーダイに対応。
また、事前に設定するだけで、夜間に自動でダウンロードして音楽番組などを楽しめるMusic&Videoチャネルに対応。P705iなら動画付きの番組も楽しめます。さらに、10MBまでのiモーションに対応しているので1曲まるごとのミュージッククリップなどを楽しめるビデオクリップにも対応しています。

- 「着うたフル」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

※お申し込みが必要な有料サービスです。

◆おサイフケータイ／トルカ

▶▶P.244、P.246

おサイフケータイ対応iアプリをダウンロードすることで、サイトからFOMA端末内のICカードに電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認したりできるようになります。さらにドコモのクレジットサービス「DCMX」のiアプリをプリインストールしています。また、機種変更などのFOMA端末お取替え時でもICカード内データを簡単に移行できる「iCお引っこしサービス」にも対応しています。
トルカは読み取り機やサイトなどから取得が可能な電子カードで、メールや赤外線通信を使って簡単に交換できます。

◆きせかえツール

▶▶P.106、P.312

iモードからお気に入りのキャラクターの画面などをダウンロードして、待受画面やメニュー画面などを一括して変更できます。

◆手ブレ補正

▶▶P.144

ぶれの少ない静止画をカメラで撮影できます。

◆Feel＊Talk／Feel＊Mail

▶▶P.107

45種類のキャラクタの動きとイルミネーションによって会話やメールの雰囲気を再現します。会話や新着メールの内容に応じて楽しいアニメーションやイルミネーションが表示されます。

◆WQVGA画面

約3.0inchのWQVGA（240ドット×427ドット）画面に静止画や動画を表示でき、ワンセグの番組も迫力ある大画面で楽しめます。
また、光センサーで周囲の明るさに合わせてバックライトを自動調整したり、液晶AIにより明るさに合わせて画質を補正することもできます。

◆ワンプッシュオープン　▶▶P.43

■ワンプッシュ応答　▶▶P.66

着信があった場合、ワンプッシュオープンボタンを押してFOMA端末を開くだけで電話に出ることができます。

■オープン新着表示　▶▶P.103

不在着信や新着メールがあった場合、ワンプッシュオープンボタンを押してFOMA端末を開くだけで不在着信履歴詳細画面や受信メール一覧画面を表示できます。

◆ビューブラインド　▶▶P.105

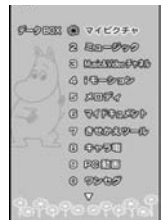
斜めの角度からディスプレイを見えにくくできます。周囲の視線を気にせずに利用できます。

◆ドキュメントビューア　▶▶P.335

パソコンで作成したMicrosoft Wordファイル、Microsoft Excelファイル、Microsoft PowerPointファイルをFOMA端末で表示できます。

◆ムーミンきせかえツール　▶▶P.106、P.312

きせかえツールで人気キャラクター「ムーミン」を設定できます。
メニューごとにかわいいキャラクターが登場します。
デコメ絵文字・ピクチャにも14キャラクターをプリインストールしています。



© Moomin Characters™

◆あんしん設定　▶▶P.117

各種ロック機能やセキュリティ設定などの「あんしん」のための各種設定をご利用いただけます。

■おまかせロック　▶▶P.121

FOMA端末を紛失した際にFOMA端末にロックがかけられ、申し出により解除できます。
お問い合わせ先については、取扱説明書裏面をご参照ください。
なお、おまかせロックは有料サービス※です。
※ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。

- おまかせロックは、ご契約者の方とFOMA端末をご利用されているお客様が異なる場合、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかることがありますのでご了承ください。

■電話帳お預かりサービス　▶▶P.129

FOMA端末の電話帳、画像、メールをお預かりセンターに保存し、紛失時などにお預かりセンターに保存したデータをFOMA端末に復元できるサービスです。さらに、お預かりセンターに保存したデータをパソコンを利用して編集・管理ができ、編集したデータをFOMA端末に反映できます。
電話帳お預かりサービスの詳細については「ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）」、お問い合わせ先については取扱説明書裏面をご覧ください。
なお、電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです。

◆ネットワークサービス　▶▶P.393

- 留守番電話サービス（有料）
  ・お申し込みが必要となります。
- 転送でんわサービス（無料）
  ・お申し込みが必要となります。
- デュアルネットワークサービス（有料）
  ・お申し込みが必要となります。
- 2in1（有料）
  ・お申し込みが必要となります。
- キャッチホン（有料）
  ・お申し込みが必要となります。
- 迷惑電話ストップサービス（無料）
  ・お申し込みは不要です。
- マルチナンバー（有料）
  ・お申し込みが必要となります。
- SMS（無料）
  ・お申し込みは不要です。

◆ボイスレコーダー　▶▶P.375

音声をメモ代わりに録音できます。打ち合わせ中などに録音すると、何度も再生できて便利です。

FOMA P705iを使いこなす！

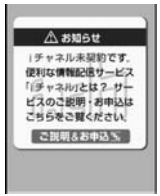
◆テレビ電話 ▶▶P.50

送受信する映像を見ながら通話できます。お買い上げ時には、送信映像の位置に代替画像が表示されます。
外側のカメラに切り替えて、周囲の映像を表示させることもできます。

◆ｉチャネル ▶▶P.176

ニュースや天気などのグラフィカルな情報を受信できます。
さらにチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、Flash(P.156参照)で作られたリッチな詳細情報を取得できます。
●お申し込みが必要な有料サービスです。

未契約



契約後

◆ワンセグ ▶▶P.254

ワンセグ(移動体向けの地上デジタルテレビ放送サービス)をご覧いただけます。字幕やデータ放送を表示したり、視聴中の番組をビデオまたは静止画として録画したりできます。また、視聴・録画したい番組を予約しておくこともできます。マルチウィンドウを利用して、ワンセグを視聴しながらｉモードメールを作成したり、送受信したｉモードメールを確認することもできます。

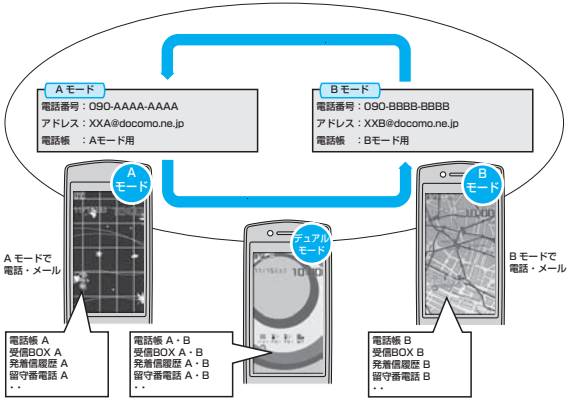
◆ミュージックプレーヤー ▶▶P.347

着うたフル®、Windows Media® Audio(WMA)ファイルやSDオーディオを、1つのプレーヤーで再生して楽しむことができます。
着うたフル®は、サイトからダウンロードして、音楽とともに画像や歌詞も表示できる場合があります。
SDオーディオ、WMAファイルはパソコンを利用して、音楽CDやインターネットなどからお好きな音楽をmicroSDメモリーカードに保存できます。
ナップスター®アプリを利用して音楽データを保存することもできます。

◆2in1　▶▶P.405

1つの携帯電話で、2番号・2メールアドレスが使え、専用のモード機能を利用することで、あたかも2つの携帯電話を使い分けるようにご利用いただけるサービスです。電話帳やメールBOX、発着信履歴、待受画面なども1台で「Aモード」「Bモード」に分けて別々に管理できるほか、A・B両モードを同時に管理できる「デュアルモード」で利用することもできます。

●お申し込みが必要な有料サービスです。



◆着もじ　▶▶P.57

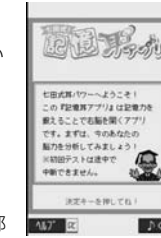
電話をかけて相手を呼び出している間、相手の着信画面にメッセージを表示させることができます。着信側はメッセージを見て相手の用件、気持ちを事前に知ることができます。

◆内蔵アプリ　▶▶P.232

■七田式！記憶耳アプリ

七田博士考案のアイデアを元にした、聴力で右脳を鍛える画期的なアプリです！

「トレーニング」「耳パワー分析」の2つのモードで分かりやすくトレーニングできます。

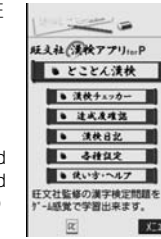


© 七田チャイルドアカデミー　感動生活倶楽部

■旺文社漢検アプリ for P

ゲーム感覚で手軽に漢字学習！漢検対策に実績のある旺文社の学習参考書をアプリに濃縮！

※準2級を搭載しています。



© Obunsha Co., Ltd
© MTI. Ltd
「漢字検定」・「漢検」は財団法人 日本漢字能力検定協会の商標です。

安全上のご注意　必ずお守りください

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

危険	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、
FOMAカードの取扱いについて〈共通〉 P.13
FOMA端末の取扱いについて P.14
電池パックの取扱いについて P.16
アダプタ（充電器含む）の取扱いについて P.16
FOMAカードの取扱いについて P.17
医用電気機器近くでの取扱いについて P.18

FOMA端末、電池パック、アダプタ(充電器含む)、FOMAカードの取扱いについて〈共通〉

危険

禁 止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。
また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

水濡れ禁止

濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

指 示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ(充電器含む)は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。
電池パック　P16
FOMA ACアダプタ　01／02
FOMA海外兼用ACアダプタ　01
FOMA DCアダプタ　01／02
卓上ホルダ　P25
FOMA乾電池アダプタ　01
FOMA補助充電アダプタ　01
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01
※その他互換性のある商品についてはドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

警告

禁 止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ(充電器含む)、FOMAカードを入れないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ(充電器含む)の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

禁 止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁 止

充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障の原因となります。

指 示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。また充電もしないでください。
ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご利用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。(ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください)

指 示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
1. 電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く。
2. FOMA端末の電源を切る。
3. 電池パックをFOMA端末から取り外す。

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

つづく

注意

禁 止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

禁 止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
故障の原因となります。

指 示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

指 示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指 示

FOMA端末をアダプタ(充電器含む)に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグの視聴などを長時間行うと、FOMA端末や電池パック・アダプタ(充電器含む)の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

FOMA端末の取扱いについて

警告

禁 止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与える場合があります。

禁 止

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。
エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁 止

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。
FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

禁 止

FOMA端末内のFOMAカードやmicroSDメモリーカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、感電、故障の原因となります。

指 示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指 示

ハンズフリーに設定して通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると、難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指 示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える可能性があります。

指 示

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。
落雷、感電の原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

注意

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

禁止

FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。

強い磁気を近づけると誤作動を引き起こす可能性があります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

禁止

着信音が鳴っているときや、FOMA端末でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。

難聴になる可能性があります。

禁止

人の近くや顔を近づけて、ワンプッシュオープンでFOMA端末を開かないでください。

本人や他の人に当たり、けがの原因となります。

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。

安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	素材	表面処理
充電端子	りん青銅	ニッケルメッキ下地に金メッキ仕上げ
コマンドナビゲーションボタン	ポリカーボネート	アルミニウム蒸着、ハードコート
ワンプッシュオープンボタンの金属部分	アルミニウム	―

指示

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。

けがなどの事故や破損の原因となります。

指示

ワンセグを視聴するときは、十分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。

視力低下につながる可能性があります。

電池パックの取扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

危険

禁 止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁 止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁 止

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁 止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指 示

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

警告

禁 止

落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、直ちに使用をやめてください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

指 示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
電池パックを漏液、発熱、破壊、発火させる原因となります。

指 示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指 示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

注意

禁 止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁 止

漏れた電池パックを充電しないでください。
電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。

指 示

電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で十分に洗い流してください。
皮膚に傷害を起こす原因となります。

アダプタ(充電器含む)の取扱いについて

警告

禁 止

アダプタ(充電器含む)のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

禁 止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
感電の原因となります。

禁 止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災の原因となります。

禁 止

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ(充電器含む)には触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

禁 止

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

禁 止

充電中は、充電器および卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、充電器および卓上ホルダを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

禁 止

アダプタ(充電器含む)のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタ(充電器含む)のコード、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

指 示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、海外で利用可能なACアダプタを使用してください。
ACアダプタ:AC100V
DCアダプタ:DC12V・24V
(マイナスアース車専用)
海外で利用可能なACアダプタ:
AC100V～240V
(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

指 示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定外のヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指 示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

指 示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

指 示

アダプタ(充電器含む)をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ(充電器含む)のコードや電源コードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜いて行ってください。
感電の原因となります。

FOMAカードの取扱いについて

注意

指 示

FOMAカード(IC部分)を取り外す際は切断面にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

医用電気機器近くでの取扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」(電波環境協議会)に準ずる。

警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

取扱上のお願い

共通のお願い

■**水をかけないでください。**

FOMA端末、電池パック、アダプタ(充電器含む)、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■**お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。**

- FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■**端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。**

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

■エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
■FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
■FOMA端末、アダプタ(充電器含む)、卓上ホルダに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
■ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

FOMA端末についてのお願い

■極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
■一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
■お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
■外部接続端子(イヤホンマイク端子)に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。
■ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。
故障、破損の原因となります。
■使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
■カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
■通常は外部接続端子カバー、microSDメモリーカード差し込み口カバーをはめた状態でご使用ください。
ほこり、水などが入り故障の原因となります。
■リアカバーを外したまま使用しないでください。
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
■ディスプレイやキーまたはボタンのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。
故障の原因となります。
■microSDメモリーカードの使用中は、microSDメモリーカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

電池パックについてのお願い

■電池パックは消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
■充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。
■初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
■電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
■電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
■電池パックは、電池残量なしの状態で保管、放置をしないでください。
電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

アダプタ(充電器含む)についてのお願い

■充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。
■次のような場所では、充電しないでください。
・湿気、ほこり、振動の多い場所
・一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
■充電中、アダプタ(充電器含む)が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
■DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

つづく

■抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
■強い衝撃を与えないでください。また、充電端子、端子ガイドを変形させないでください。
故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

■FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
■使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
■他のICカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
■IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
■お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
■お客様ご自身で、FOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
■環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
■極端な高温・低温は避けてください。
■ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
■FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。
■FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。
■FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
故障の原因となります。

FeliCa リーダー／ライターについてのお願い

■FOMA端末の FeliCa リーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
■使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

注意

■改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク㊣」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
■自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
運転中は、携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。
■FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。
FOMA端末の FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」「mova」「着もじ」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉアプリDX」「ｉモーション」「デコメール」「着モーション」「キャラ電」「トルカ」「きせかえツール」「電話帳お預かりサービス」「おまかせロック」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「ビジュアルネット」「Vライブ」「ｉチャネル」「おサイフケータイ」「DCMX」「iD」「セキュリティスキャン」「ｉショット」「ｉモーションメール」「ｉエリア」「ショートメール」「WORLD WING」「公共モード」「メッセージF」「パケ・ホーダイ」「ファミリーワイドリミット」「マルチナンバー」「DoPa」「sigmarion」「musea」「iCお引っこしサービス」「IMCS」「OFFICEED」「うた・ホーダイ」「2in1」「Music&Video チャネル」「メロディコール」「エリアメール」および「FOMA」ロゴ「i-mode」ロゴ「i-αppli」ロゴ「DCMX」ロゴ「iC」ロゴ「iD」ロゴ「Music&Videoチャネル」ロゴ「HIGH-SPEED」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関係会社の日本国内における登録商標です。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
- ナビダイヤルサービス名称およびナビダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2007 Aplix Corporation. All rights reserved.
  JBlendおよびJBlendに関する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- microSDHCロゴは商標です。
- 「マルチタスク／Multitask」は日本電気株式会社の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 使いかたナビ®は株式会社カナックの登録商標です。
- Javaおよびすべての Java関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- Powered by Mascot Capsule®/Micro3D Edition™ Mascot Capsule®は株式会社エイチアイの商標です。
- 静止画手ブレ補正は、株式会社モルフォのPhotoSolid®を使用しています。
  PhotoSolid®は株式会社モルフォの登録商標です。
- 「ナップスター」は、Napster,LLC.の米国内外における登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Sync Clientを搭載しています。
  Copyright © 2007 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
  ACCESS、NetFrontは、日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は、OBEX機能および赤外線通信機能として、株式会社ACCESSのIrFrontを搭載しています。
  ACCESS、NetFront、IrFrontは株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのFlash® Lite™およびAdobe® Reader®テクノロジーを搭載しています。
  Flash Lite copyright © 1995-2007 Adobe Macromedia Software LLC. All rights reserved.
  Adobe Reader copyright © 1984-2007 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe、Flash、Flash LiteおよびReaderは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。

つづく

- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;
  4,901,307 5,504,773 5,109,390　5,535,239 5,267,262 5,600,754 5,416,797 5,490,165 5,101,501　5,511,073 5,267,261 5,568,483 5,414,796 5,659,569 5,056,109　5,506,865 5,228,054 5,544,196 5,337,338 5,657,420 5,710,784　5,778,338
- 本製品にはGNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、本製品付属CD-ROM内の「GPL・LGPL等について」フォルダ内の「readme.txt」をご参照ください。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア（株）のAdvanced Wnn V2を使用しています。
  "Advanced Wnn V2" © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 1999-2008 All Rights Reserved.
- 本製品のFeel＊Talkはアレグリア株式会社の音声分析技術「Sense」を搭載しています。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  ・MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4ビデオ）を記録する場合
  ・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4ビデオを再生する場合
  ・MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者から入手されたMPEG-4ビデオを再生する場合
  詳細については米国法人MPEG LA, LLC
  （http://www.mpegla.com）をご参照下さい。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  ・AVC規格に準拠する動画（以下、AVCビデオ）を記録する場合
  ・個人的かつ非営利活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
  ・ライセンスをうけた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合
  詳細については米国法人MPEG LA, LLC
  （http://www.mpegla.com）をご参照下さい。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  ・VC-1の規格に準拠する動画（以下、VC-1ビデオ）を記録する場合
  ・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたVC-1ビデオを再生する場合
  ・MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者から入手されたVC-1ビデオを再生する場合
  詳細については米国法人MPEG LA, LLC
  （http://www.mpegla.com）をご参照下さい。

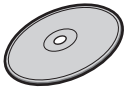
- 「PRINT Image Matching」「PRINT Image Matching Ⅱ」「PRINT Image Matching Ⅲ」に関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。
- 本製品は、InterDigital Technology社からのライセンスに基づき生産・販売されています。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system、またはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
  Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
- 本製品に搭載しているWindows Media Technologyはマイクロソフト社および第三者の知的財産権により保護されています。本製品以外にマイクロソフト社およびその関連会社の許可なくその技術を使用することおよび頒布することは禁止されています。
- 本製品は、マイクロソフト社の知的財産権により保護されています。マイクロソフトもしくはマイクロソフトによる承認を受けた子会社からのライセンスを得ずに、本製品以外で技術の使用もしくは頒布を行うことは禁止されています。
- コンテンツプロバイダーは、本製品に含まれるWindows Mediaデジタル著作権管理技術（WM-DRM）によってコンテンツの内容を保護し（以下、"保護コンテンツ"といいます）、そのコンテンツの著作権を含む知的財産権が不正に利用されないようにしています。本製品は、保護コンテンツの再生にWM-DRMソフトウェアを使用しています。本製品のWM-DRMソフトウェアの安全性が損なわれた場合、保護コンテンツの所有者はWM-DRMソフトウェアによる本製品の保護コンテンツの複製、表示、再生を可能にする新ライセンス取得権の無効化をマイクロソフトに要求できます。無効化は、WM-DRMソフトウェアによる保護コンテンツ以外のコンテンツの再生能力に影響するものではありません。インターネットもしくはパソコンから保護コンテンツのライセンスをダウンロードする際に、無効化されたWM-DRMソフトウェアリストが製品に送付されます。Microsoftはライセンスとともに、保護コンテンツ所有者に代わり無効化リストを製品にダウンロードする場合があります。

本体付属品および主なオプション品について

＜本体付属品＞

●FOMA P705i本体
（保証書、リアカバー　P23）

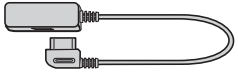
●FOMA P705i用CD-ROM
PDF版「パソコン接続マニュアル」
PDF版「区点コード一覧」を収録しています。



●取扱説明書（本書）
クイックマニュアル添付（P.502参照）

●電池パック　P16

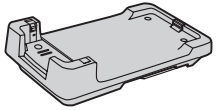
●外部接続端子用イヤホン変換アダプタ（試供品）（取扱説明書付き）
平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）や市販のステレオイヤホン（ミニプラグ）の接続時に使用します。



＜主なオプション品＞

●FOMA ACアダプタ　01／02
（保証書、取扱説明書付き）

●卓上ホルダ　P25
（取扱説明書付き）



その他オプション品について→P.460